

高A
美術

めが “ます目描き”



をしてみよう

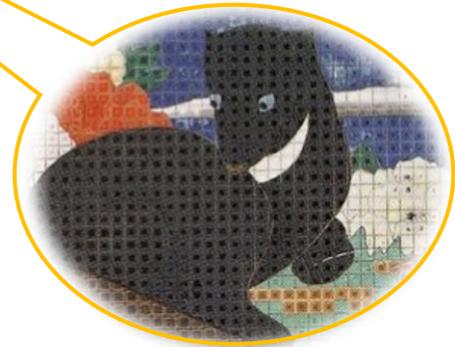
この絵は

ちょうじゅうかぼくずびょうぶ かく えどじだい
鳥獣花木図屏風[各168.7×374.4 cm]江戸時代

いとうじゃくちゅう
伊藤若冲[1716~1800]



ちか
近くでみると、
ます目に、ひとつひとつ
いろ
色がぬられています。



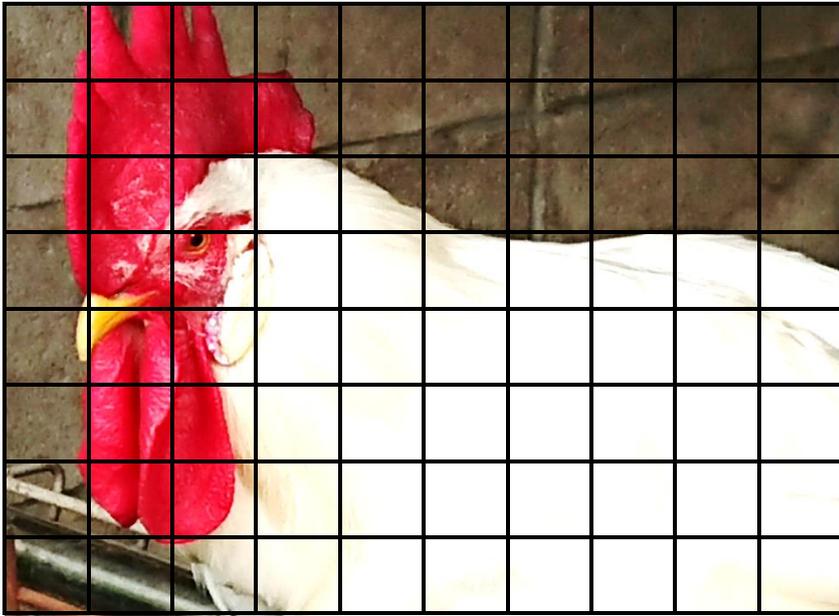
えどじだい だいひょう えし いとうじゃくちゅう やさい う しょうばい おとうと
江戸時代を代表する絵師・伊藤若冲は、野菜を売る商売を弟にゆずっ
て、絵を描くことだけをして、暮らしました。

うえ さくひん おお ますめ まん こいじょう か かた
上の作品を覆うます目は、8万6,000個以上あります。このような描き方
を“ます目描き”といいます。

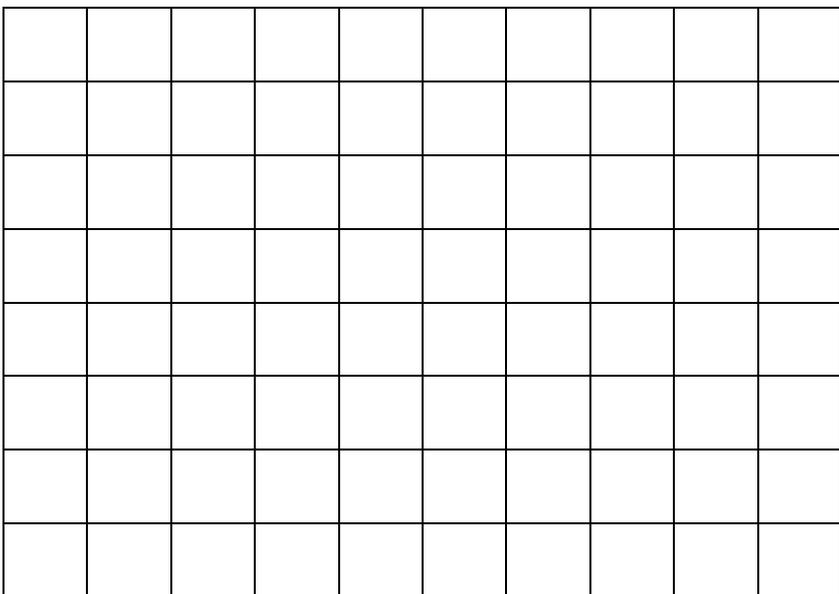
…ということで、今回は“ます目描き”にチャレンジしてみましよう。

○このページを印刷できる人は、印刷して、練習してみよう。○

※印刷できなくても、好きな写真に線を引いて、自分でます目を描けば同じようにできます。



① ^か描いてみたい写真や絵に、
^めます目の線を引く。
(^{いち}一ますは約 ^{やく}1 × 1 cm)



② ^{いち}一ますずつ、よく^み見て、
うつしていく。
^{れんしゅう}練習してみよう。

こんな感じです。

